



夢いんご

海田町立海田西小学校
学校だより 第9号
令和5年11月27日
発行 海田西小学校
<http://www.kaitanishi-e.ed.jp/>

やりきる西っ子 かしく・やさしく・たくましく

学校へ行こう週間では、たくさんの方が来校され、NIE学習発表会を見ていただきました。海田西小学校が取り組んでいるNIE(新聞を授業に取り入れる)活動と生活科や総合的な学習の時間での学びを関連付けた発表では、学年のテーマのもと、一人一人が大きな声で学んだことを表現しました。福山大学教授小原友行先生からは、「どの学年にも新しい発見がある」「テーマがポジティブでやさしさがある」「それぞれの学年発表の会間のNIE委員会によるコメントでよさを見つけている」と講評してくださいました。

11/2 NIE学習発表会



1年 あきのおもちゃをつくらう



2年 やさい すくすく



3年 たんけん！発見！海田町のいいね！
を伝えよう



4年 みんないきいき！住みよい町
づくりを目指して



5年 地球温暖化を止めよう！
脱炭素社会に向けてわたしたちができること



6年 届けよう！つなげよう！
西のチカラ

11/8 3校クリーンキャンペーン

海田西中、海田西小、海田小が合同でクリーンキャンペーンを行いました。中学生がリーダーとなり、校区内のゴミ拾いをしました。中学生とグループになり、自己紹介をしたり活動の振り返りを行いました。活動を通して、率先して働く中学生の姿にあこがれるとともに自分たちが住んでいる町への愛着が高まりました。



11/17 人権の花贈呈式



元気のよい1年生の司会進行で人権の花贈呈式を行いました。紙芝居「おつきさま わらったよ」を聴き、「やさしさ」について考えました。また人権擁護委員さんから、「人権の花」として、一人1個ずつヒヤシンスの球根を受け取りました。これから水栽培で育てながら、心も成長させていきます。





12月の行事予定

日	曜	主な行事
1	金	
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	マラソン記録会 スクールカウンセラー相談日
6	水	委員会
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	西っ子外遊びタイム
12	火	
13	水	クラブ、標準学力調査及び i-check
14	木	
15	金	
16	土	個人懇談会
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	心の元気あいさつ運動、防災授業1年③
21	木	
22	金	2学期終業式
23	土	冬休み（～1/8）
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	職員振替休日（12/16）
29	金	
30	土	
31	日	



1月の行事予定

日	曜	主な行事
1	月	元旦
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	3学期始業式
10	水	委員会
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	「文化芸術による子供育成推進事業」 公演（東京芸術座）12:50
16	火	身体測定1～3年、学校諸費引落日
17	水	身体測定4～6年 クラブ
18	木	
19	金	心の元気あいさつ運動
20	土	
21	日	
22	月	海田西小学校一日入学 13:30
23	火	スクールカウンセラー相談日 2年 PTC⑤
24	水	こども議会リハーサル 15:00
25	木	こども議会 13:00～15:50 学校諸費再引落日
26	金	海田西中学校入学説明会（6年）
27	土	
28	日	
29	月	西っ子外遊びタイム スマホ安全教室（5・6年）⑤
30	火	
31	火	職員研修

※変更になる場合があります

11/2 避難訓練 ～命を守る～

地震・津波を想定した避難訓練をしました。地震が起こった時の想定では、緊急放送を聞き、頭を教科書等で守り、指示を聞いて避難していました。また、津波が起こった時の避難では、1年生から屋上まで避難しました。自分の命を守るためにどの児童も真剣に訓練に参加していました。



スクールカウンセリング 12月5日(火) 9:00～13:00

カウンセリングをご希望の方は、事前に教頭までご連絡ください。 (822-1031)

各種作品応募の結果



☆第23回中国新聞みんなの新聞コンクール

- 【ジュニア新聞の部 広島県知事賞】 2年 中山美聡
- 【ジュニア新聞の部 中国新聞販売所連合会賞】 2年 山本伊織
- 【ジュニア新聞の部 広島県教育委員会賞】 3年 御堂河内唯

☆租税作品コンクール

- 【標語 海田町教育委員会教育長賞】 6年 中村夏凜
- 【標語 海田税務署長賞】 6年 板谷理人

☆小学生の税に関する絵はがきコンクール

- 【入選】 6年 栞本陽 徳本佑心

☆環境と健康のポスター標語コンクール

- | | |
|-------------------------|---------------|
| (ポスター) | (標語) |
| 【広島県知事賞】 4年 石原悠伍 | 【優秀賞】 4年 来原健心 |
| 【優秀賞】 5年 安保望愛 大下瑞月 山本大雅 | 6年 落岩正尋 |
| 6年 落岩正尋 吉澤幸佐 | |

☆青少年健全育成標語コンクール

- 【最優秀賞】 6年 落岩正尋
- 【優秀賞】 6年 伊藤陽菜 徳本佑心 吉澤幸佐

☆筆の里ありがとうのちょっと大きな絵てがみ大賞

- 【佳作】 3年 河岡汰良
- 【奨励賞】 1年 古山澄真 松田拓真 向井寿音
- 3年 中村心春
- 4年 草本夏帆

第39回安芸郡小学生陸上記録会の結果

11月11日(土)にミットヨスポーツパーク郷原(呉市総合スポーツセンター)において、安芸郡小学生陸上記録会が行われました。本校からは10名が参加しました。郡内の他の小学生と競いながら自己新記録を目指しました。(8位までが入賞)

- | | | | |
|-----------------|----|-------|-------|
| 【80mハードル走 6年女子】 | 3位 | 中元琉羽夏 | 14秒1 |
| 【80mハードル走 6年男子】 | 7位 | 梶山義人 | 13秒8 |
| 【100m走 6年女子】 | 4位 | 中元琉羽夏 | 15秒1 |
| 【走り幅跳び 6年男子】 | 2位 | 田上龍希 | 426cm |

海田西小学校は、青少年赤十字加盟15周年を迎え、表彰されました。これからも赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人びととの友好親善の精神を育成することを目的として、さまざまな活動を学校教育の中で展開していきます。



令和5年度 海田西小学校 学校評価中間報告

学校評価項目の中間報告と10月25日に海田西中学校区学校運営協議会学校運営協議会が開かれたときに委員さんからいただいた評価を紹介します。

	重点項目	評価指標	評価	改善策と評価
確かな学力の育成	学力の定着	○学力調査及び期末テストで期待得点を上回った児童の割合を75%以上にする。 【中間結果】82.5%	3	<ul style="list-style-type: none"> ・誤答の多い問題を解き直したり、数字を変えて類似問題にとかせたりするなどして、確実に定着を図る。 ・昼前学習も効果的に活用しながら定着を図る。 ・海田町図書館とも連携しながら、月1回、学級文庫に学年に応じた本が入れ替わるようにすることで、本への関心を高める。 ・おすすめの本を児童玄関近くに置くなど、児童が目にする場に設置することで本への興味を高める。 ・朝のドリルタイム、昼前学習など早朝のつまずきを見逃さず、細やかな振り返りが学習基礎の定着につながる。
	読書活動の推進	○1週間で5回以上読書をする児童の割合を90%以上にする。 【中間結果】98%	4	
豊かな心の育成	美しい環境づくり	○掃除ができている縦割り班の割合を80%以上にする。 【中間結果】98%	4	<ul style="list-style-type: none"> ・全校朝会で掃除道具入れに貼ってある表と掃除道具に貼ってあるラベルの意味を説明する。また、掃除が終わっても教室に帰るまで無言で移動するように呼びかける。 ・道徳や学活の時間を活用して、挨拶の指導を続ける。 ・登校班の班長・副班長指導を毎月実施し、挨拶の振り返りをするとともに班の手本となって挨拶ができるように指導を行う。 ・高学年のリーダーシップ養成に期待をします。
	道徳的実践	○気持ちの良い挨拶が出来る児童の割合を70%以上にする。 【中間結果】84%	3	
健やかな体の育成	運動好きな子供の育成	1日の運動時間が30分以上の児童の割合を80%以上にする。 【中間結果】89.4%	4	<ul style="list-style-type: none"> ・体育整備委員会による校内放送の呼びかけや体育朝会で、全校で出来る遊びを紹介し、行っていく。 ・保健委員会による呼びかけの工夫を行う。歯みがきの習慣がつくように継続して取り組んでいく。 ・体を動かす大切さを教えてほしい。
	規則正しい生活習慣	○朝・昼・夜に歯を磨く児童の割合を80%以上にする。 【中間結果】82.4%	3	
信頼される学校	子供と向き合う時間の確保	○「子供と向き合う時間の確保ができてい」の割合を80%以上にする。 【中間結果】66.7%	1	<ul style="list-style-type: none"> ・「子供と向き合う時間の確保」に向けて、全職員で日頃の業務を見直す。 ・効率的に業務を行うための方策について職員で交流する。 ・「子供と向き合う時間」ということが、具体的に職員の理解が難しいです。
	地域との連携強化	○全学年、毎月1回以上地域人材を生かした学習活動をする。 【中間結果】月2.8回	3	